

自分探しの旅 ～realize (気づき)～

令和7年度1年部学年だより

令和7年6月4日(水)

文責 学年主任 青木佑介

防災学習の振り返り

5月27日(火)～29日(木)の3日間で、防災についての学習を行いました。どの活動も、生徒たちは真剣に取り組み、防災の意識が高まりました。

1日目の防災演習では、静岡県東部地域局危機管理課から講師をお招きし、講話をしていただきました。災害時に避難する際、ペットを避難所に連れていくかどうかや、避難場所に何を持っていけばよいのかを、グループで話し合いました。講師の先生から、「楽しそうに活動し、グループでは真剣に話し合ってくれる学校は今までなかったです。素敵な生徒さんたちですね。」とお褒めの言葉をいただきました。

2日目は、県立美術館と地震防災センターに行ってきました。県立美術館では、ロダン館の「考える人」や「地獄の門」の作品に触れたり、エジプト展で新たな発見をしたりと、学校では体験できない貴重な学びをすることができました。地獄の門のスケールの大きさに圧倒されている生徒もいました。地震防災センターでは、静岡県の地形の特徴から、想定されている被害の大きさを学びました。地震体験では震度7を体験し、あまりの揺れの大きさに驚いていました。どちらも、説明を聞きながらメモを取る生徒が多く、説明をしていただいたスタッフから「立派ですね。」と、ここでもお褒めの言葉をいただきました。

3日目は、学校内で防災レクリエーションと防災講話を行いました。防災レクリエーションでは、学校内にある危険箇所を探したり、防災〇×クイズを行ったりしました。企画・運営をした学年委員は、みんなが楽しく学べるようにと盛り上げてくれました。

3日目に、3日間のまとめとして防災振り返り新聞を作成しました。生徒たちが書いた内容から、学ぶことが多く、有意義であったと感じました。また、校外に出て学習することで、公共の場での過ごし方や、集団生活の大切さに気が付くことができました。今回の貴重な体験を今後の生活に生かし、さらにより良い学年となっていけるように1年部職員一同支えていきたいと思えます。

着衣水泳のお知らせ

1年生は、6月16日(月)に実施します。場所は静岡県立富士水泳場です。水着を着て、その上からジャージ上下を着て入水します。持ち物を下記に記載しますので、準備をお願いします。

【持ち物】・水着(形や色の指定はなし。)

・水泳キャップ

・本校ジャージ上下

・500ml以上の空のペットボトル1本

・大きめのビニール袋(下足用と濡れたジャージなどを入れる用)

・タオル

・水筒

・ゴーグル(任意)

・きれいな靴(着衣水泳のため靴を履いて実施。かかとが覆われていないサンダルは不可。クロックスのようなバンドを足首に掛けて脱げないものは可。)